



— CONCEPT BOOK —

# 我が国が目指す未来社会像

サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会。それを我が国が目指す未来社会「Society 5.0」\*と提唱しました。

国内外の情勢変化を踏まえ、未来社会をより具体的に「直面する脅威や先  
の见えない不確実な状況に対し、持続可能性と強靱性を備え、国民の安全  
と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ（Well-being）を実現  
できる社会」と表現し、このような未来社会の実現を目指しています。



\*第5期科学技術基本計画



## 科学技術・イノベーションへの取組

内閣府では、総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）が司令塔となり、未来社会の実現のためのイノベーション創出を目指す国家的なプログラムを進めています。

戦略的イノベーション創造プログラム（SiP）、研究開発と Society 5.0 との 橋渡しプログラム（BRIDGE）、ムーンショット型研究開発制度は、それぞれに共鳴しながら研究開発の社会実装に取り組んでいます。

SiP とは、総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）が司令塔機能を發揮して、府省の枠や旧来の分野を超えたマネジメントにより、科学技術イノベーション実現のために創設した国家プロジェクト。2023 年度から開始した第 3 期では、Society 5.0 の実現に向けてバックキャストで 14 の課題を設定。技術だけでなく事業・人材等の 5 つの視点から検討を行うことで、社会実装に向けた戦略的な取組を進めています。

## 未来社会の実現に向けアジャイルに推進

### 目指す未来社会

国民の  
Well-beingの実現

世界の  
リバビリティ\*の向上

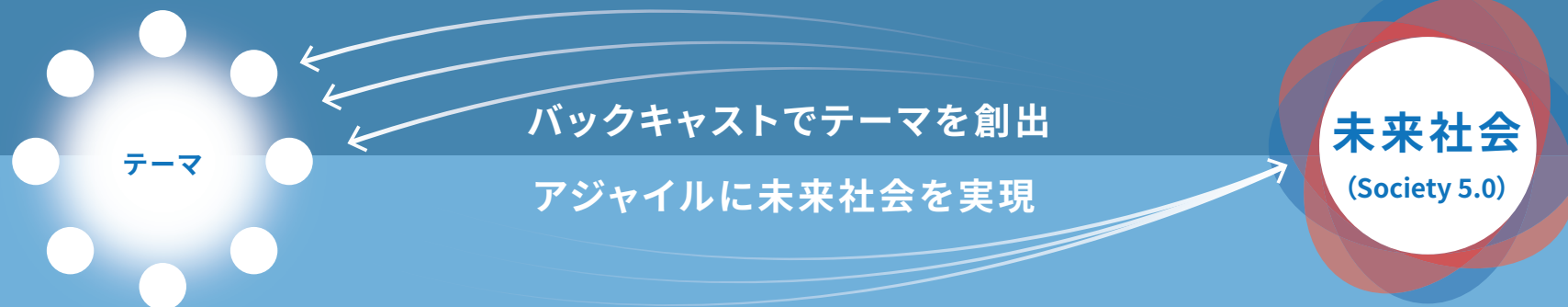
地球環境の  
サステナビリティ  
への貢献

経済安全保障  
の確保

レジリエンスの  
強化など

他

\* リバビリティ：暮らしやすさ、住みやすさ



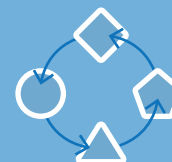
### アジャイルな開発モデル



トライ&エラー



テーマ同士がスクラムに



スプリントによる変容



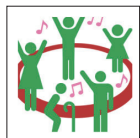
### 豊かな食が提供される 持続可能なフードチェーンの構築

松本 英三  
(株)J-オイルミルズ 取締役常務執行役員



### 統合型ヘルスケアシステムの構築

永井 良三  
自治医科大学 学長



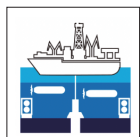
### 包摂的コミュニティプラットフォームの構築

久野 譜也  
筑波大学大学院 人間総合科学学術院 教授 兼 筑波大学 スマートウェルネスシティ政策開発研究センター長



### ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現する プラットフォームの構築

西村 訓弘  
三重大学大学院 地域イノベーション学研究所 教授・特命副学長



### 海洋安全保障プラットフォームの構築

石井 正一  
日本 CCS 調査(株) 顧問



### スマートエネルギーマネジメントシステムの構築

浅野 浩志  
岐阜大学高等研究院 特任教授／(一財)電力中央研究所 研究アドバイザー／東京工業大学 科学技術創成研究院 特任教授



### サーキュラーエコノミーシステムの構築

伊藤 耕三  
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 教授



### スマート防災ネットワークの構築

楠 浩一  
東京大学 地震研究所 災害科学系研究部門 教授



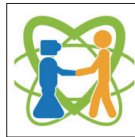
### スマートインフラマネジメントシステムの構築

久田 真  
東北大学大学院工学研究科 教授 兼 インフラ・マネジメント研究センター センター長



### スマートモビリティプラットフォームの構築

石田 東生  
筑波大学 名誉教授



### 人協調型ロボティクスへの拡大に向けた 基盤技術・ルールの整備

山海 嘉之  
筑波大学 システム情報系教授 兼 サイバニクス研究センター 研究統括 兼 未来社会工学開発センター センター長／CYBERDYNE(株) 代表取締役社長・CEO



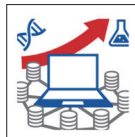
### バーチャルエコノミー拡大に向けた 基盤技術・ルールの整備

持丸 正明  
(国研)産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 研究センター長



### 先端的量子技術基盤の社会課題への応用促進

寒川 哲臣  
日本電信電話(株) 先端技術総合研究所 常務理事 基礎・先端研究プリンシパル



### マテリアル事業化イノベーション・ 育成エコシステムの構築

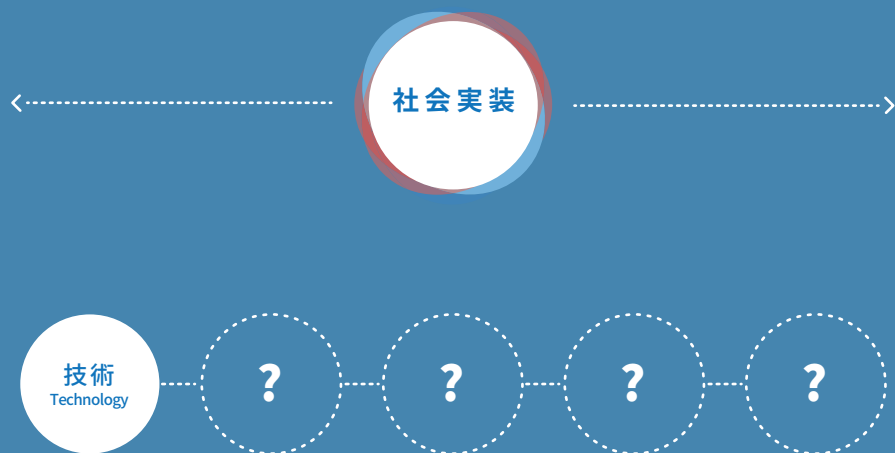
木場 祥介  
ユニバーサルマテリアルズインキュベーター(株) 代表取締役パートナー

# 社会変革を志向する イノベーションの推進

国内外の経済・社会情勢の変化に対応し、技術開発にとどまらず、多角的な視点から社会変革の推進を目指しています。社会変革を志向するイノベーションの推進には、従来の科学技術・イノベーション政策の枠組みを越えた総合的・複合的なアプローチが必要です。そこで、社会実装に向けた5つの視点から関係省庁や産業界と連携した取組を推進しています。

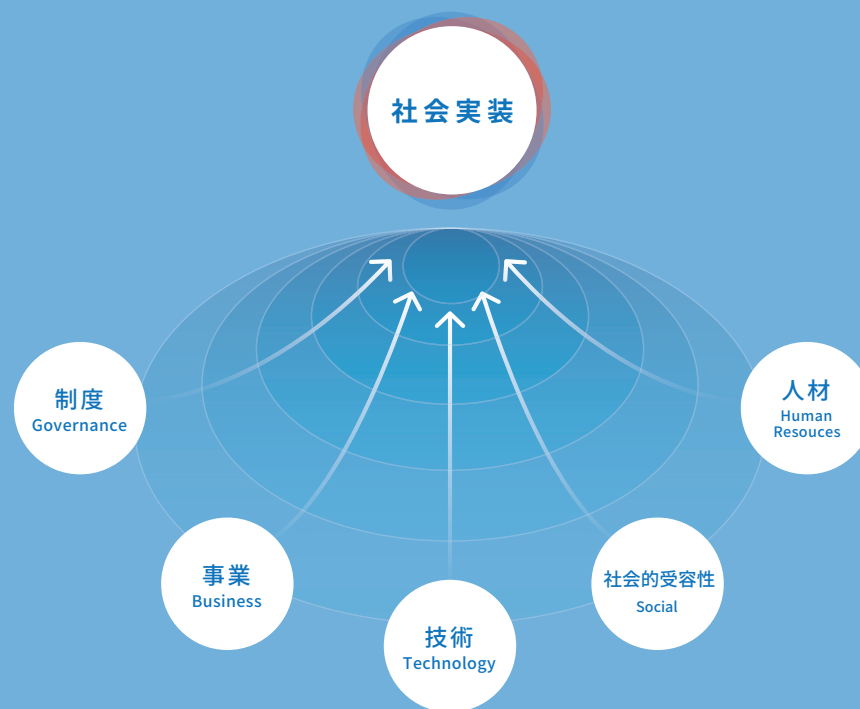
## 従来のプロジェクト

技術はできても、社会実装に繋がらないことも...



## SIP 第3期

プログラムディレクター（PD）のもとで、府省連携・産学連携により、5つの視点から必要な取り組みを推進！





研究開発とSociety 5.0との  
橋渡しプログラム

programs for Bridging the gap between R&D and  
the Ideal society (Society 5.0) and Generating  
Economic and social value

## 研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム（BRIDGE）

BRIDGE とは、科学技術・イノベーション政策の方針に基づき、総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）の司令塔機能を生かし各省庁の研究開発等の施策のイノベーション化を推進するプログラム。

「重点課題」（例：事業環境整備、スタートアップ創出、人材育成など）を設定し、研究開発だけでなく社会課題解決等に向けた取組を推進。SIP との一体的な運用を推進し、研究開発と Society 5.0 を橋渡ししていきます。

## イノベーションの推進

### 社会実装に向けた橋渡し

SIP や各省庁の  
施策での  
革新技术等の  
研究開発

革新技术等による  
社会課題解決や  
新事業創出





SiP



WEBサイトはコチラ

<https://www.sip.go.jp/>

発行元：内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局

発行日：2024年11月

Copyright©2024 Cabinet Office, Government of Japan. All rights reserved.

